

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 106

千葉県立長狭高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

意欲的に学校生活に取り組む意志があり、かつ次のア、イ、ウのいずれかに該当する生徒

- ア 学業成績に優れ、入学後も意欲的・継続的に学習に取り組むことで学力向上を図ろうとする生徒
- イ 部活動や生徒会活動等に熱心に取り組み、入学後も引き続き活動を続け、成果を上げることが期待できる生徒
- ウ 本校の医療・福祉コースに興味・関心を持ち、将来は医療・福祉等に関する仕事に就き、地域に貢献したいと強く希望する生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (面接)	評価者2名の個人面接 検査時間：7分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔175点満点〕

アの数値に、エ～カについて加点（上限40点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が20日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	生徒会活動の役職について加点する。
オ 部活動の記録	部活動の役職及び顕著な実績について加点する。
カ 特記事項	顕彰及び顕著な検定資格について加点する。

(3) 学校設定検査（面接）〔50点満点〕

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各25点満点）を合計し、得点化する。評価cが2つ以上ついた場合には、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。期待する生徒像を理解している。
イ 中学校生活の活動	中学校で頑張ったこと等について、明確に回答することができる。
ウ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。
エ 質問に対する態度	質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答できる。
オ 面接に臨む態度	面接に臨む態度が適切であり、基本的な作法が身についている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

〈総得点の満点の内訳〉

学力検査の 得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	面接	
500点	135点	40点	50点	725点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。